

練馬区議会議員

かつこ
やない 克子

保健福祉委員会
総合・災害対策等特別委員会



練馬区議会議員

やまさき
山崎 まりも

企画総務委員会
みどり・環境等特別委員会



生活者ネットワーク

区議会ニュース

2024年 第一回定例会(2月8日~3月15日) 報告号

環境・福祉優先の区政を

「『第3次みどりの風吹くまちビジョン』に掲げる施策を着実に推進し、練馬区の更なる発展に取り組む」として編成された2024年度予算。一般会計(国保や介護保険等は除く)は過去最大の約3230億円です。

本庁舎への再生可能エネルギー100%の電力導入など、生活者ネットの政策提案が実現に向けて前進する一方で、相変わらずまちづくりや都市計画道路、区立美術館の改築など、区民との合意形成が不十分なのに計画ありきで進める姿勢を容認することはできず、反対しました。

予算特別委員会での主な質疑

1.財政計画

区民が区財政に関心を持つ取り組みとして、予算編成過程の公表や市民参加型予算の検討を

2.総務費

中高層マンションの災害時のトイレなどの利用停止・再開の判断は各自治会・管理組合任せ。チェックリスト作成を促すなど、強くはたらきかけるべき

3.地域文化費

人工芝はマイクロプラスチック流出など環境への影響を懸念。区立施設の人工芝は見直しを

4.保健福祉費

これまで課題と指摘してきた、ひとり親家庭を支援するホームヘルプ事業の報酬単価が増額。利用者、事業者双方のニーズに応えられるよう引き続き検討を

5.都市整備・土木費

区立大泉井頭公園整備は、計画段階から住民や活動団体とともに生態系保護の視点で検討すること

6.教育費

区の不登校対策は、居場所やICTの活用などだけでなく、「学校を変える」視点で取り組み

7.子ども家庭費

小学校入学前の就学相談は、すべての子どもに普通学級入学の選択肢があることを示すべき

8.産業経済費

オーガニック給食を望む区民と区、生産者、JAなどが課題を共有し、できることからすすめること

9.環境費

PETボトルからPETボトルにリサイクルするボトルtoボトルを開始するが「減らすこと」が重要。脱プラスチックは脱炭素の視点からも危機感を持って周知を

陳情「脱原発、脱炭素と再生可能エネルギー政策について」に賛成

「脱原発、脱石炭火力、2035年目標再生可能エネルギー導入80%、発電と送配電の分離」などを国に求める陳情は反対多数で不採択。定例会最終日、山崎まりもが「原発ありきのエネルギー政策を見直し、再生可能エネルギーによる地域分散型エネルギー社会に転換すべき」と討論しました。



反対討論はこちら↑



気候危機問題は待ったなし！ 生活者ネットワークが提案してきた脱炭素施策が前進

森林環境譲与税を活用した 「カーボンオフセット事業」の検討に着手！

私たちは、練馬区の友好都市である長野県上田市の森林整備に森林環境譲与税(以下、譲与税)を活用し、カーボンオフセット事業に取り組むよう提案してきました。

譲与税は、森林整備のほかに林業人材の確保・育成、地域産木材の活用など使用目的が定められています。区は、憩いの森の整備や学校改築時の多摩産材の調達などに活用してきました。

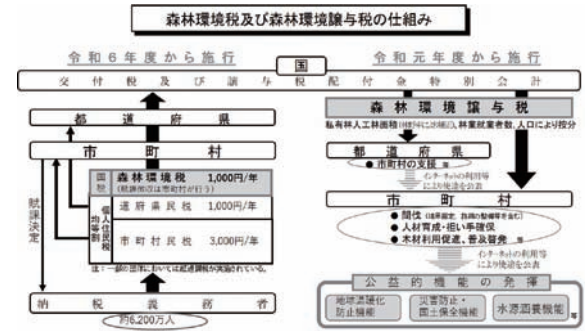
2024年度の練馬区への配分は8000万円。2023年度の7500万円から増額した500万円です。カーボンオフセット事業の検討に着手します。

上田市の林業の活性化、区のCO2削減目標達成のほか、植樹や森林セラピー、伐採や間伐体験など環境意識の啓発や上田市との交流促進も期待されます。

練馬区役所、再エネ100%電力の導入へ

2024年度から区役所練馬庁舎を再生可能エネルギー100%電力に切り替えます。これにより、年間約2500トンのCO2排出量が削減されます。

その他の区立施設の電力についても、再生可能エネルギーの導入に向けて取り組む方針です。



出典：林野庁HP「森林環境税及び森林環境譲与税の仕組み」より



「子ども議会」は、議題の選び方が肝！ 子どもの権利に則って開催すべき

毎年夏に「練馬子ども議会」が開催されます。区内の全中学校から代表の生徒が集まり、議題を決め、事前に議題ごとのテーマに分かれて学習や議論を重ね政策提言にまとめて発表します。

2023年度の議題は、①練馬区のゼロカーボンシティの実現②誰もがスポーツを楽しめるまち③教育ICTについて④中高生に図書館に来てもらうには、の4つでした。

意見交換を聞いていて、特に熱を感じたのは「教育ICT」についてです。「ドングル(通信をする際にPCに差し込む機器)が壊れやすい」、「調べ学習の際にフィルターがかけられすぎて使いにくい」



▶「ミニカワサキ」見学時の写真。子どもがお店や仕事、通貨もつくり、子ども市長も選挙で決める。大人は口出し禁止！子どもの権利を学びながらの活動です

▶歴代の「練馬子ども議会」の報告書の子どもアンケートはおおむねよかった!との声。そんな中「形式的だった58%」という意見も



など、普段の学校生活の中で、日々感じている課題を率直に発言している様子が伺えました。

予算質疑で、子ども議会の議題の決め方を質したところ、「区が進める施策の中から選んでもらっている」とのこと。中学生が「こうなったらいいのに!」と思うことは、たくさんあるはず。子どもたちが議題を決めるところから始めるべきです。

「こんな意見も言ってもいいんだ!」という経験をたくさん子どもたちにしてほしいです。

子どもは自分の未来や環境について考え、行動する社会の一員であり、大人は聞く姿勢が必要です。かつては、子ども議会の中で子どもの権利条約について学んでいました。改めて、子ども議会で学ぶ場を復活させるよう求めました。

●information●

第二回定例区議会：2024年6月3日(月)～21日(金) ※本会議はインターネット動画配信(生中継)でも傍聴できます。

区議会ニュース第一回定例会報告号 2024年3月18日 発行 やない克子 山崎まりも
〒176-0001練馬区練馬1-15-1-302 練馬・生活者ネットワーク
TEL:03-3993-4899 FAX:03-5999-4632
webページ <https://nerima-seikatsusya.net/>
メール net-gikai@jcom.home.ne.jp ご意見・ご質問をお寄せください。



生活者ネットワークは、地域の課題や生活者の声を集めて、区政につなげています。